

2008年7月17日

受講生の皆様へ

## 国語力図面（一模範解答例図面）の添削チェック手順

教育的ウラ指導事務局

[www.ura410.com](http://www.ura410.com)

### ロプランニングチェック手順

是非とも他の受講生が作成した模範解答例図面について、自分が講師になったつもりで添削チェックをしてみてください。その過程で、良いプランニングとは何か？悪いプランニング・下手なプランニングとは何か？が見えてくることでしょう。下記に添削チェック手順をまとめてみました。

#### 1. 建物の骨格チェック

○x方向, y方向のSPAN割

→とりわけ1階部分については、敷地境界線との離れをチェック（最低2m, 出来れば3m）。

○縦コアや吹抜の位置についての各階チェック

→上下階の不整合がないか確認する。あれば一発アウト！

#### 2. 面積表チェック

○算定方法の確認

→面積の取り方は適正か。計算ミスはないか。算定式が分かり易いか？

x方向×y方向とし、分かりづらい場合は、カッコ下記で面積算入部を明記（例：（バルコニー））。

#### 3. 断面図チェック

○寸法線+天井高のチェック

→建築物の高さ、階高、天井高、1階床高など

○明記されている室名などに平面図との不整合がないか確認

○間仕切がRC壁の場合は、上部下部に小梁を表現

#### 4. 外構条件チェック

○敷地境界線の種類

→敷地の周辺条件の設定を確認

○駐車場、駐輪場、ゴミ置場、屋外施設の位置・大きさ・使い勝手をチェック

→きちんと駐車できるか？メインエントランスまでの距離は長すぎないか？

車イス利用者が専用駐車場からスムーズにアプローチできるか？

○広場やテラスなどの屋外施設と建物内部との関係を確認

→内部空間と外部空間のツナガリをチェック

#### 5. 各階のゾーニング+使い勝手をチェック（ポイントは通用口）

○通用口をみつけて管理ゾーンの位置を確認

→通用口が見つければ自ずと管理ゾーンの範囲が見えてくる。

○利用者ゾーンの種類や範囲をゾーンごとに確認。残りが共用ゾーン（エントランス、廊下等）となる。

→各階のゾーン設定をチェックすると、だいたいの施設の構成や概要が見えてくる。

○各ゾーン内の使い勝手を確認しながら、所室の配置や関係性をチェック。

以上です。